



新庁舎建設だより 第10号



令和7年12月10日

発行：会津坂下町

【事務担当：庁舎整備課 庁舎整備班 Tel:0242-84-1527】

第10号では、新庁舎建設事業の経過と、令和7年11月10日に新庁舎建設検討委員会で視察研修を行ったことについてお知らせいたします。

1. 新庁舎建設事業の経過をお知らせします

令和7年第1回定例会（令和7年3月6日開会）にて「建設場所を含む会津坂下町役場新庁舎建設の基本的な指針」が可決されてから、町では下記のことを中心に事業を進めております。

○「会津坂下町新庁舎建設基本計画」（以下「基本計画」という）の策定

・町民の代表者21名にて構成された新庁舎建設検討委員会にて、基本計画の検討を行っております。新庁舎に導入する機能を中心に議論を行っており、今年度は4回開催しております。

・庁内の検討委員会、議会の特別委員会にて基本計画の検討を行っております。今年度は、庁内の検討委員会が4回、議会の特別委員会は3回開催しております。

○用地の取得

・土地の所有者であるJA福島厚生連と、用地を取得するための協議を行っております。

○委託業務

・測量業務を実施しております。土地の面積や隣接地との境界線の確定などを行っております。

・地質調査業務を実施しております。土地の地盤を調査し、今後の設計の基礎資料とします。

なお、町ホームページにて、事業の経過や新庁舎建設検討委員会の会議録などを掲載しておりますので、下記のURL、または二次元コードよりご覧ください。

ホームページURL：<https://www.town.aizubange.fukushima.jp/soshiki/36/>

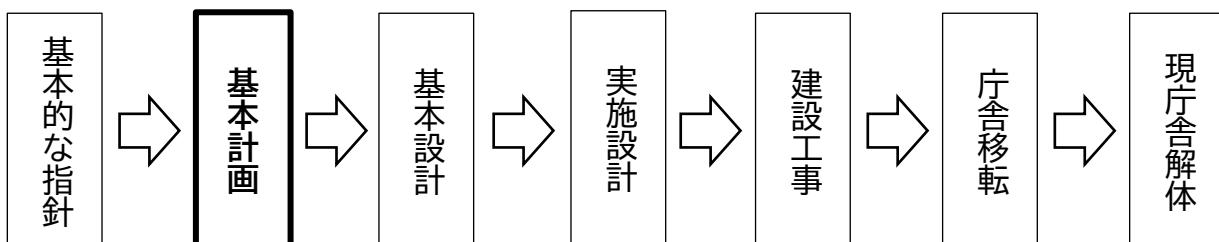


HP二次元コード▷

※基本計画とは？

新庁舎の建設に必要な規模や機能、敷地の利用計画など、本町が目指す新庁舎整備の基本的な考え方を示すものです。今後、基本設計や実施設計で詳細な設計を行う際の指針となる、重要な計画となります。

○基本計画の位置づけ



2. 観察研修を行いました

町では、基本計画作成の参考にするため、新庁舎建設検討委員会で、山形県の白鷹町、川西町の観察研修を行いました。観察先の概要と庁舎の様子は以下のようになっています。

■白鷹町

○庁舎の概要

建設年度：平成31年4月（令和元年5月開庁）

構造：木造2階建て

延床面積：4,558.52m²

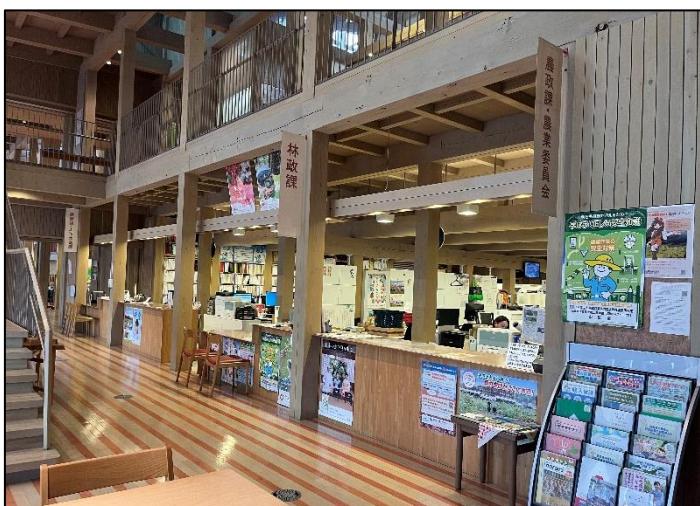
町産木材を活用した木造庁舎で、図書館と中央公民館を併設している複合施設となっています。



◀庁舎外観



▲観察研修の様子



◀1階窓口



▲図書館



◀町民ラウンジ

■川西町

○庁舎の概要

建設年度：令和3年1月（令和3年5月開庁）

構造：鉄筋コンクリート造3階建て

延床面積；4,434.36m²

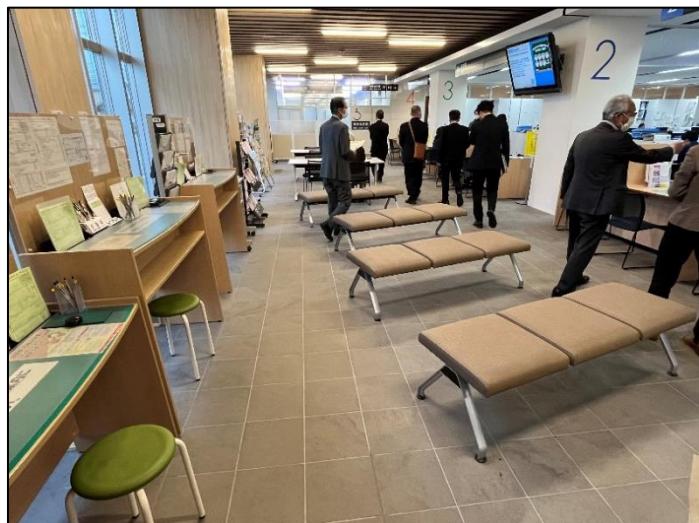
市街地から郊外に移転した庁舎で、効率的で機能性の高い庁舎です。



◀庁舎外観



▲視察研修の様子



◀1階待合スペース

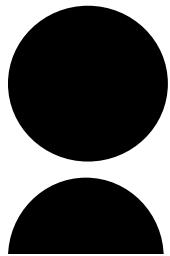


▲交流室



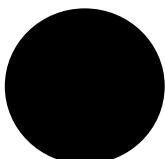
◀1階キッズスペース

■視察研修に参加した委員の感想



白鷹町は、庁舎の中に入ったとたんに木の柱や梁が目に付き、酒蔵を連想させる雰囲気を受けました。会津坂下町は「発酵の町」を謳っているので、木造もいいなと感じました。空調はバイオマスボイラーで、地元木材をチップにしたものを利用していたので、会津坂下町も、たくさん生えているスギの木を何かに活用できたらいいなと思いました。

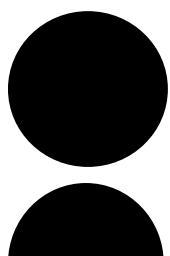
川西町は、人口規模も敷地面積も会津坂下町と同程度で、参考にするにはとてもいいと思いました。



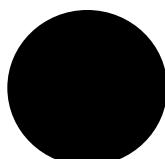
白鷹町は、木造ということで、入ったとたんに木の温もりを感じました。また、複合施設ということで交流スペースもあり、一般の方がくつろいでいたので、一般の方でも入りやすい雰囲気が感じられました。

川西町は、防災拠点としての機能を持つ鉄筋コンクリート造ということで、入ったとたんに庁舎だなというイメージを強く感じました。

両町を見た結果、防災拠点ということであれば鉄筋コンクリート造で、内装の木質化を図るというのが望ましいのかなと思いました。



両町とも、基本設計案を町民の方々に提示して、出た意見を参考に設計を見直すということを3、4回行ったと聞きました。そういうふうに進めていけば、町民の意見が反映された庁舎になると思います。川西町は会津坂下町と置かれている状況が似ていましたので、これからも色々な市町村を参考に、町民の声を聞きながら進めてほしいと思いました。



白鷹町は、「中会議室（議場）」と、議場が括弧書きになっていることに驚きました。議会がないときは一般の方々にも開放されており、空き部屋がないように利活用していることが分かりました。

川西町は、ゆったりとした造りで、機能的な庁舎でした。跡地の利活用も含めて、本町でも参考にできるのではと思いました。

両町とも、町民の意見や要望がよく反映されてつくられ、利活用されていることが分かりました。

今回の視察研修の内容も参考に、引き続き基本計画の作成を進めてまいります。計画案が完成しましたら町民説明会を開催し、町民の皆様のご意見をいただきたいと考えております。今後ともご協力を願いいたします。